

力あるベテランの介護職員の方々、
熱意ある優秀な介護職員の方々は、
どんな思いでいるのでしょうか？

自施設の職員達を
どう教育すれば、よい
介護が出来るのだろう…。

医療に関する知識が足りず
介護と医療の連携に
不安を感じる…。

オーナーや他の職員に
理解されず事業所内での
孤独を感じる…。

これが代表的な多くの声なのです。

改善介護士制度は、これらを解決するメソッドです。

ご自身と中心スタッフで受講し、認定を得る事が出来れば、運営上もっとも注意しなければならない要介護者に対する医療的不安を小さく出来ます。



改善介護士とは？

一般社団法人日本高齢者改善介護協議会
(理事長：岩下由加里)の認定する資格です。



従来の介護能力に加え、(1)高齢者の要介護度を改善する「改善力」、(2)症状の変化に早期に気付く「観察力」、(3)症状の悪化をミニマイズ(最小化)する「対処力」、(4)医療との連携の架け橋となる「連携力」の4つの力・知識を身につける事で要介護度を改善し、ADLはもとより、QOLレベルの改善、更にはQODの改善も可能とする、今後の日本のソーシャルスタンダード(社会標準)とすべき介護士です。

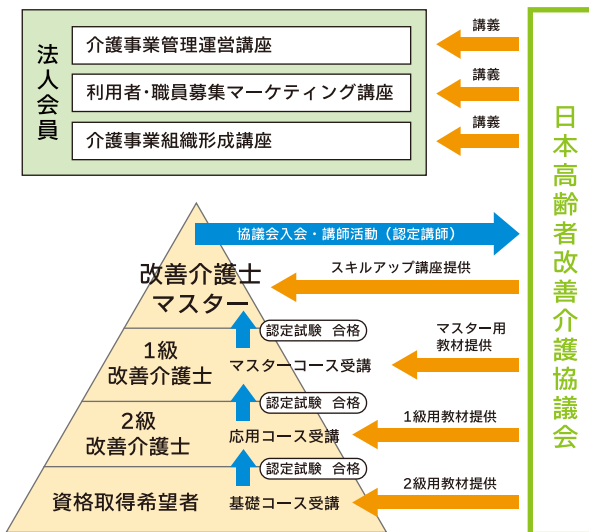
★ADL(Activities of daily living)＝「日常生活動作」と訳され、日常生活をする際にとる行動のこと。ADLレベルが低下すると要介護者となる。

★QOL(Quality of life)＝「生活の質」と訳され、たとえ要介護状態であっても自分らしく生きること。

★QOD(Quality of death)＝「死の質」と訳され、如何に満足して死を迎えることができるのか。

法人コース？個人コースとどこが違うの？

当協議会の運営する改善介護士講座は、個人用として改善介護士の基礎となる「観察力」を身につけるための2級(基礎)コースと、症状を改善するために必要な「対処力」「改善力」を身につけ医療との「連携力」を強化する1級(応用)コース、そしてこれらの知識や技術を講師として2級・1級改善介護士を目指す介護職員に教育して行く事ができる力まで身につけさせるマスターコースの全3コースをご用意していますが、法人用としてはこれに加え、事業所運営に必須となる下記3コースをセットしております。



介護事業管理運営講座	介護事業所の運営管理方法や人間関係の調整などの課題をクリアするための技術を学びます。
利用者・職員募集マーケティング講座	マーケティングを学ぶ事で利用者や働くスタッフを集めると言う悩みを減少できます。
介護事業組織形成講座	処遇改善加算にも対応できるキャリアパスに基づいた組織形成術を学びます。

こちらの全コース受講完了の事業所様には当協議会より「認定改善介護院」認定証及び展示プレートを発行、協議会ホームページ内でもその旨を紹介し認定改善介護院告知ページに掲載いたします。
こちらでもスタッフ求人のお役に立つ事ができる仕組みです。

※改善介護院：院とは古来、高い垣根などに囲まれた建築物を指したが、その後宮中や教育、医療など公的な機関に使われる事が多くなった。介護施設はその機能や位置づけからこの院に相当するとも考えても良さそうなものだが通常そう使われる事は無い。改善介護士を擁(よう)する施設は特に医療機関との連携力も高く、より相応しいものであると考えこの呼称を使う事としております。

